



ー 見張田に 白雲映し 風渡る 麦秋揺るる 畦道をゆくー

山々の新緑も一段と深みをましてきました。総会を終え一ヶ月余 美協の活動も順調にすべり出しました。会員ひとり一人健康に留意し“今を大切に”元気で進んでいきましょう。(宮子)



新会長あいさつ

会長 君島光江

この度、綾瀬市美術協会会長として重責を背負うことになりました。新会長としての今後の指針として原点(発足時)に帰ることで目的とした[会員相互の教養を深め親睦を図り地域社会の芸術文化の向上に貢献する]を基盤に遵守して会員一人ひとりの質の高い芸術作品を目指しながら切磋琢磨しより良い美協展を遂行したいと思います。本美協は絵を描く仲間です。それには、会員相互のコミュニケーションが大切です。そこから心豊かな作品が生み出されるのではないかと思います。そして地域社会に誇れる作品発表の美協展となるのではないのでしょうか。それにより、地域社会の芸術文化の発展に貢献して行くことが、美協の使命と思われます。

新体制の役員一同が一丸となり努力してまいりますので会員の皆様にはご理解とご協力をお願い致します。

30 年度総会報告

安西 肇



総会風景

4月8日(日)10時より中央公民館において、平成30年度(第32回)総会が開催されました。出席者31名 委任24名 合計55名で会員数の過半数に達し総会が成立いたしました。29年度の事業、会計、監査報告に続き、30年度事業計画案、予算案、新役員案の説明が行われ、承認されました。今年度は君島副会長が新会長に選出され、羽瀨会長は顧問に就任しました。羽瀨顧問は6年間 会長として美協の運営にご尽力されました。お疲れ様でした。また、新入会員は29年度、30年度で各1名。退会者は4名と報告されました。

*** 松本敏裕先生の講演 ***

松本先生は、現在高校・大学の美術科非常勤講師・陶芸インストラクター等をされています。今回、講演は「制作のヒント」という興味深いテーマでした。手作りの小冊子によりお話しをして頂きました。制作の心構えとして非常にためになったことは ①何を描きたいのか ②何を伝えたいか ③才能は継続すること ④現場の雰囲気や大事にするなどこれから作品を制作していく上でとても有意義な講演であったと思います。また、先生がわざわざお持ち頂いた油絵「ヴェネツィアの女神」は心に残った作品でした。 青木信夫



会長退任にあたって 羽瀨完俊(顧問)

内田会長からの素晴らしい組織を受け継ぎ維持向上に努めることができました。これらはひとえに、役員皆様熱意あるご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。この6年間は、会の目的を常に頭に描き、会員相互の教養をより高め、親睦を図ることはもとより、地域社会の美術文化の向上に寄与することへの重要性を意識したものでした。市企画の支援や、特に、市内児童の2大美展(市展・児童作品展)の後援により、市民の皆様には市美協の存在と活動に、より多くの注目がいただけたものと思います。今後とも、市民参加の企画および市民芸術活動への後援などにご尽力されることを期待してやみません。長い間有難うございました。

※4月29日「春の叙勲」が発表され、羽瀨完俊顧問が防衛省・自衛隊での功労により、「瑞宝小綬章」を受章されました。 誠におめでとうございます。

第26回美協展を終えて

4月20日(金)~26日(木)7日間 市役所7階市民展示ホールにて第26回美協展が開催されました。

ここ数年会員数の減少も影響してか、来場者数も500名前後と横ばいの状況ですが、会員の皆さんの技量が年々向上し、今回も素晴らしい作品を発表されました。特に、最終日には合評会が開催され、活発なご意見、ご講評により大変有意義な美協展となりました。ご協力有難うございました。

展示部会 安西 肇